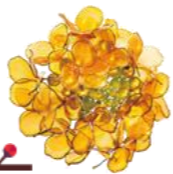


メルヘンハウス通信



春はあけぼの

今月の和とく情報

袋帯の芯

袋帯を求めた時に、帯芯の事を気にされたり、好みの固さについて聞かれたことがありましたか？

袋帯は黙っていても芯が入っているものと思われている方がほとんどでしょう。

一般的に袋帯は表地と裏地を2枚合わせて両側が縫い合わさって閉じてあり、タレのところは閉じてありません。

本来は帯芯を入れてからタレの部分を閉じ仕上げます。芯を入れずに何回も締めれば帯地を傷めてしまいます。そして、帯を締めた時、形に張りが保てないので、くたっとした感じで美しくないのです。

このように、帯芯が入ってないと帯を締めたときの見た目も悪く、袋帯の寿命も短くなりますので、きちんと芯を入れて仕立てることを心掛けて下さい。

これからの和とくポイント

芯を入れなかった理由

なぜ芯を入れないで使用していたのかさまざまな理由があるようです。

- 1) 袋帯を求めた時に仕立てる事を念頭に置かずそのまま持ち帰って使用している場合。
- 2) 求める方が軽くて楽なのが良いから芯を不要と言われ、芯抜きでタレの下だけを閉じる仕立てを頼んだ時。
- 3) 何十年も前の丸帯や袋帯が重くて締めにくいので帯芯を抜かれて使用する場合があります。さまざまな理由があって帯芯を入れないまま使われている時がありますが、どんな袋帯にも芯を入れることを勧めます。

そこには2つの大きな理由があります。まず芯を入れて帯を長持ちさせること、そして美しい帯の形を見せるためです。古いアンティークの袋帯はとても強いシワやシミが付いています。地のしをするか、洗い張りできるものはしてから新たに芯を入れましょう。

昔のものは地厚な帯地が多いので薄めの芯を入れることです。ただし、丸帯に関しては元々丈が短いので再生するにはもう少し工夫が必要です。帯芯には厚さが何種類かあります。これは帯を仕立てる方々の判断に任せておけばよろしいと思いますが、袋帯は必ず芯を入れたものを締めるのだということは認識しておいて下さい。

今日もきものの気分

やしま呉服店からのお知らせ

4月の催事・イベント

◎春のやしま祭り…26日(金)～29日(月)

◎ポーセラーツ教室…18日(木)



その時々に合わせて♪
飾ったり食器としてもステキ♪



只今、生徒さん募集中♪
先ずは見学からでもOKです♪



※各詳細のお問い合わせはお店まで

さくらきもの学院

春期受講生募集！お申込みはお早めに！
和服姿の輪がまた広がります♪



◎HP: <http://jtti.jp/sakurawasou/>
◎Fb: <https://www.facebook.com/sakurawasou/>

♪ レッスンのお申込受付ます♪

・マンツーマンレッスン：初等科6回

・1dayレッスン：500円/回

※詳細はさくらきもの学院事務局まで

